

広島市立広島養護学校のセンター的機能に関するアンケートの結果について（報告）

昨年末から年始にかけて、標記のことについて市内の小中学校にアンケートを実施したところ、多くの学校よりご回答いただき、ありがとうございました。

遅くなりましたが、別添の通り、集計がまとまりましたので、取り急ぎ結果のみ報告させていただきます。今後、本校が特別支援学校として、頂戴したご意見やニーズ等に対してどのような支援ができるのか検討を進め、センター的機能の実践計画立案のための基礎資料として活用させて頂く次第です。

今後とも引き続き、ご指導並びにご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

Q 2 現在、貴校ではどのような特別支援教育に関する支援を受けられていますか。

当てはまるものがあれば、以下の回答欄の番号を で囲んでください。

項 目	小学校	中学校	合計
広島市教育委員会事業 「特別支援教育アシスタント事業」の活用	5 1	2 3	7 4
広島市（北部・西部を含む）子ども療育センターでの医療相談・理学療法相談	4 7	1 9	6 6
通級指導教室からの個別の指導並びに支援	3 9	1 3	5 2
本校（広島市立広島養護学校）の公開研究会・夏期研修会への参加	2 5	6	3 1
広島市教育委員会事業 「特別支援教育体制推進事業」の活用	1 8	7	2 5
何も支援を受けていない。	1 4	1	1 5
広島市教育委員会事業 「障害児教育推進支援事業」の活用	8	4	1 2
県立障害児学校の・公開研究会・研修会への参加	9	3	1 2
その他（ ）	9	3	1 2
県立障害児学校（盲ろう養護学校）の教育相談事業（入学相談以外）	5	2	7
「広島市障害児（者）地域療育等支援事業」の活用	3	0	3

Q3 現在、本校では特別支援学校に向けて、具体的な取組みの検討を進めているところです。

今後、本校（広島市立広島養護学校）にどのような特別支援教育に関する支援やサービスを利用したいとお考えですか。

当てはまるものがあれば、以下の回答欄の番号を で囲んでください。

項 目	小学校	中学校	合計
L D、A D H D、高機能自閉症等の通常学級の児童生徒への支援方策や指導法に関するアドバイス	9 3	2 7	1 2 0
障害児学級の児童生徒への支援方策や指導法に関するアドバイス	6 7	2 5	9 2
「個別の教育支援計画」の作成に関するアドバイス	6 9	1 9	8 8
「個別の指導計画」の作成に関するアドバイス	6 2	2 2	8 4
教材・教具の情報と貸出	5 6	1 8	7 4
アセスメントに関する対応（各種検査の実施）	5 4	1 9	7 3
保護者への説明や教育相談	4 9	1 9	6 8
特別支援教育・進路・福祉・労働等に関する情報の提供	4 2	1 9	6 1
他機関との連携に関するコーディネート	4 3	1 6	5 9
研修計画のアドバイスや研修会講師のコーディネート	3 6	1 6	5 2
研修会・公開研究会の開催	3 2	1 4	4 6
校内委員会など組織や運営に関するアドバイス	2 8	1 2	4 0
教室環境など環境調整に関するアドバイス	2 9	6	3 5
障害児教育関係の図書の貸し出しや教科書（107条本）の公開展示	2 3	1 2	3 5
長期休業中や土日の施設の利用	1 4	6	2 0
専門設備のある施設の利用（プール・運動場・体育館・図書室・プレイルーム・作業室会議室等）	1 5	3	1 8
その他（ ）	0	1	1

広島市立広島養護学校のセンター的機能に関するアンケート結果 2

Q 4 その他、本校が今後「特別支援学校」として行う助言・援助等に関することや期待されていること、また、お気づきの点があればご自由に記述をお願いいたします。

A 支援方策や指導法に関すること（抜粋）

小学校

- 1 現在は特別支援教育について教員一人一人が理解を深めもっともっと専門性を高めていかなければならないと思う。そのために研修等に関わってもらい具体的に支援方法や指導法等について指導・助言をいただきたい。
- 2 いわゆる軽度発達障害といわれ子が「普通学級」に入級することが考えられますが、こうした子どもや他の子に対する細かい指導の手だてを示していただければ助かると思う。
- 3 センター的な機能として期待していることは小・中学校で障害児学級の児童を含め軽度発達障害の児童の支援方法に関して具体的なアドバイスをしていただきたい。
- 4 学校に来て頂いて発達障害の児童を見ていただき、（一人ひとりの児童にあった）支援方法や指導方法を教えていただきたい。
- 5 ソーシャルスキルトレーニングなどを通級でもよいので指導していただきたい。
- 6 軽度発達障害児への支援方法や指導法の実践例、実際に行われたケースの事例集があれば参考にしたい。
- 7 子どもの発達の課題の捉え方と見通しの持ち方を教えていただきたい。
- 8 定期的な（学期毎、半年毎など）学校訪問による児童観察とアドバイスがほしい。
- 9 肢体不自由のリハビリや学校生活の配慮事項などのアドバイス、配慮を要する個々の子ども達への支援方策や指導法のアドバイスなどをしてほしい。
- 10 子どもへの支援方法や指導法などの助言や援助を専門的な立場でして頂けることを期待する。

中学校

- 11 普通学級で生活している特別支援が必要な生徒に対しての支援方法や指導法及び他機関との連携や連携ができる他機関の情報についての助言や援助を期待する。
- 12 通常学級における軽度の発達障害の生徒たちへの具体的な支援方法や指導法を教えて欲しい。
- 13 個々の子どもの見方などについて継続的にアドバイスを専門的にとってもらえる体制が欲しい。
- 14 重度・重複障害のある生徒が入学してきたときに支援方法や指導法についてのアドバイスが欲しい。

B 「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」の作成に関すること（抜粋）

小学校

- 15 個別の教育支援計画については通っている学校だけではなく、幼・小・中・高・大の教育機関全体の関連及び医療機関とうの連携をとった上での計画立案になると思っているが、現時点でその作成を当該小学校のみで行うのはいろいろな意味で不可能に近いと考えている。その作成に当たっては支援・コーディネート等できるだけ援助してもらえるような体制を作ってほしいと思う。
- 16 子どもの実態からどのように「個別の指導計画」や「個別の教育支援計画」を作成するのか、その取組みの流れや留意点、配慮事項などを知りたい。

17 「個別の教育支援計画」について校内での研修を進めるにあたり、研修したい課題に適した講師や資料について知りたい。

18 個別の指導計画や個別の教育支援計画の作成に関して例があれば教えていただきたい。

中学校

19 個人の情報は入手できるが、その特性に対しどのような効果的指導法が考えられるかというアセスメントの部分が弱いので対象生徒の行動分析・対処法（複数）を教えてください、具体的に支援計画を作成していきたい。

20 いろいろな生徒がいて、LD、ADHD、高機能自閉症であるかどうかはわからない。しかし、それぞれの子どもに対しての支援は当然必要になっている。その際の個別支援計画等の指導がそれぞれのパターンでできればいいのだが、その援助もしてもらいたい。当然親との関わり方も必要になるが、アドバイスを頂きたい。

21 個別の指導計画や個別の教育支援計画の様式が様々で、各担任の先生にお願いするときに悩む。作成自体にとまどいをもたれているため、有る程度負担にならず書きやすい様式をいくつか紹介していただくと、ただ、「作成してください。」より作ることにはずみがつくと思うのだが。

C 教材・教具等の情報提供と貸出に関すること（抜粋）

小学校

22 ソーシャルスキルカード等、コミュニケーション能力を高めるための教材を紹介してほしい。

23 児童生徒に対する進路や福祉に関する情報提供をしてほしい。

24 教材・教具や参考文献等の資料に関する提示などをしてほしい。

25 課題を持った児童が必要とする専門機関についての情報がほしい。

中学校

26 子どもへの具体的な指導法（教科指導や自立活動）などについて情報発信基地になってほしい。

27 各学校での取組みや課題は様々です。貴校から少しずつであっても主体的に情報発信や研修会、交流会などをされる中で自校に必要な情報等を得ていくことにつながると思う。

28 障害児教育関係の専門図書及び視聴覚教材（研修用を含む）の貸出をしてほしい。

D アセスメント（各種検査の実施）に関すること（抜粋）

小学校

29 K ABC を十分に使えるようになるための講習会を開き、子どもの困り感を把握できるようにしたい。

30 アセスメント（各種検査）に関する研修を実施して欲しい。

発達障害を持っている児童かどうかの判断をどうするのか

31 子どもの実態の把握に間違いがないか、アセスメントに関する事など学校に来て頂いて教えて頂ければ助かる。

32 発達障害かもしれないと思われる児童に対して実態把握し、適切な支援をするためには検査も必要な場合があると思うが療育センターだと3ヶ月待ちという状態である。

診断をするのは医師だが学校としてできることがあるのではないかと。しかし器具もなくどう判断したらよいかもわからないので助言・援助して頂きたいと思う。

33 どういう子なのか心理テスト等の測定検査に基づく診断とそれに対応した指導法を教えてください。

E 教育相談・進路相談・保護者対応に関すること（抜粋）

小学校

- 34 何でも相談できるような所があればうれしい。
- 35 「通常学級における支援の在り方について」本校では障害（診断名）の有無にかかわらず個々の児童に指導をしてきている。しかし、専門的な研修はあまり持たず土曜日に開かれている各種機関・団体の研修会に個人的に参加すると、特別支援教育について保護者の方が熱心によく勉強されていると感じる。子どもに過度の負担にならず、かつ保護者にも理解していただけるような個別の支援策などについて教職員や保護者の相談窓口になっていただけるとありがたい。
- 36 障害を受け入れられない保護者にどう対応していけばよいかを学んでいきたい。
- 37 専門的な視点から子どもや保護者へのアドバイスを頂けたらありがたい。重度の子どもさんへの教育内容について悩んでいる学校が多い。
- 38 福祉関係・労働関係については知らないことが多いので基本的なことについて話を聞く機会があればと思う。
- 39 特別支援教育や軽度発達障害に係わる保護者等の相談窓口として機能してほしい。
- 40 LD、ADHD、高機能自閉症等の通常学級の児童生徒への指導支援についてだけでなく周りの児童生徒や保護者に理解してもらうための取組みや方法について相談にのってほしい。
- 41 私立の小学校では支援が受けられないまたは受けにくい現状がある。多くの方に支援が提供してもらえるような場であってほしいと願う。相談にのっていただけるような（コーディネーター、相談員）がいると助かる。
- 42 職場体験の情報を教えていただきたい。進路についてデータが欲しい。
- 43 特別支援学校の中に療育センターのような内容をもった機関があれば、より幅広く相談する窓口が広がる。
- 44 子どもへの支援方法や指導法を実態を見て頂いたり電話等で気軽に相談できるようになったりしたらよいなと思う。
- 45 保護者の支援の方法、周りの保護者への説明や協力を得る方法について相談したい。
- 46 LD、ADHD等、軽度発達障害のある児童がどの学級にも在籍していると言われている今日、保護者の間でも幾分知られるようにはなっていますが、理解度は低く支援の方法も手探り状態である。目に見える形の障害については理解しやすいが、そうではない障害については子どもも大人も理解しにくく、同時にどのように接していけばよいか等、戸惑いも大きいように思う。障害を理解できるよう周囲がどうかかわっていくとよいか等の助言をいただきたいと思う。
- 47 子どもへの支援方法や指導法、個別の指導計画や個別の教育支援計画の作成に関する事、特別支援教育に係わる保護者への説明や教育相談・進路相談に関する事、他機関との連携や研修に関する事等で困った時に気軽に相談させていただき事ができ、また講師等を派遣して下さるとありがたい。
- 48 福祉器具等の貸出や情報、高等部卒業後の進路状況（市立養護学校だけでなく通常の学校の情報を把握し実態調査をしてほしい。
- 49 学校と保護者が連携して児童を育てるために保護者に児童の学校での実態を理解してもらい課題意識を持ってもらうことが一番難しいと感じる。特に「特別な支援が必要だ」ということを保護者に理解してもらうことに困難さがある。保護者と協力して進めていくための対応の仕方を知りたい。

50 小学校からの「特別支援」に関する相談に気軽に応じて頂ける「特別支援学校」であってほしいと期待しています。例えば話を親身に聞いて頂き適切な資料やアドバイスを頂けるようお願いする。

51 特別支援教育に係わるセンター的機能の役割として活動して下さることを心から願っている。今の時点で思いついたことを2点書かせてもらいたい。

市内には養護学校が3校あるがこの地域はこの養護学校へ相談に行くという範囲が決まっていた方がよいのではないかと思う。より密度の濃い連携が継続してとれるのでは。

相談をしたいと思った場合、予約をとってからではなく、どんな形でいいので(電話、ファックス)すぐに相談でき対応策がとれるよう体制ができればいいと思う。

52 現在、教育相談を希望しても子ども療育センターなどは3ヶ月待ちの状況なので、市立養護学校でも同様の教育相談が受けられたらと思う。

中学校

53 LD、ADHDなどの通常学級の生徒・保護者の相談窓口(中学校を卒業し、進学・就職した後にも相談に行ける窓口を)

54 特別支援教育に係わる保護者への説明や教育相談・進路相談に関して、より専門的なアドバイスを頂きたい。

55 保護者や本人が相談できる場となってほしい(現状はなかなかスムーズ、スピーディーにいかない)。進路の面では中学校卒業時にも大変悩みますが、その先将来的に働く場等とつなげていけるような支援をしてもらえる場となってほしい。

F コーディネートに関連すること(抜粋)

小学校

56 地域ネットワークづくりについては、どのような計画をお持ちでしょうか。通学区域の範囲内での対応となるのか。(安佐南区・安佐北区は?)

58 校内委員会など組織や運営に関する指導をお願いしたい。

59 幼稚園、小・中学校との連携、パイプ役、教育相談及び適切な専門機関への橋渡しをしてほしい。

60 職員研修の情報や研修会講師のコーディネートを期待したい。

61 他機関と連携をとりながら子どもたちの支援をしていきたいと思うのだが、どうしていけば組織的に動けるのかわからない。今後センター的機能を発揮し様々な助言・援助が頂けることを期待している。

G 研修等に関すること(抜粋)

小学校

62 障害をもった児童・生徒の教育内容の組み方や指導法について公開研究会や研修会を持っていただきその実践から学ばせていただきたい。今年度公開授業に参加し、大変勉強になった。また、小学部から高等部まで成長を見通した上で小学生や中学生の時に育てた力や大切にしたい配慮などを教えていただけるのは養護学校ならではの役割ではないかと期待している。

63 教職員或は保護者対象の研修会開催にあたっての講師招へいや進め方のアドバイスがほしい。

64 多くの教員がその時期だけの児童の様子しか理解できにくい面を持っている。大きくなった時のことを考えその為には今の段階ではこんな力をつけていく必要が有る等踏まえていかなければ成長

を考えた指導にはならない。養護学校では個々の障害をもつ子どもたちの全ての成長を見通して（小学校から中学校、高等学校、就職してから）取り組んでいると思われるのでそれぞれの成長段階での必ず（できるだけ）しておかなければいけないこと、どんな成長過程をたどるのが、教員の認識面において研修や話を聞かせてほしい。

- 65 市内の小中学校と養護学校が互いに情報交換できる機会（研修会・研究会など）をもっともてるといいと思う。

H その他（抜粋）

小学校

- 66 特別支援学校のセンター的機能として教育相談（保護者・児童生徒・教員）指導や支援計画等のスーパーバイズができる人員の配置があるとよい。特に通常学級で困っている先生や児童生徒への支援が気軽に受け入れられる体制を支える人員があるとよいと思う。
- 67 市立養護学校が特別支援学校に変わった場合、今までと何がどのように変わっていくのか（教職員も保護者も）わからないことが多いので、まずそのことを教えてほしい。
- 68 市立養護学校だけでなく県立広島養護学校、県立広島北養護学校も同様の取組みをしている。それぞれがばらばらに動いていて形は違っていても同様の質問をそれぞれの学校から受けている状況である。整理する等して頂けるとありがたい。
- 69 特別支援が必要となる可能性はあるが、はっきり確定させることができないケースが多い。検証・判断して頂ける方や施設等をもって簡単に利用できる方法はないものか？
公的機関は時間がかかる（順番が来ない）学校との連携がスムーズにいかない場合が多く気軽に利用とはいかない。このギャップも改善できるような取組みを行っていただけるとありがたいと思う。

中学校

- 70 私は本年度から障害児学級担任になってすべてのことをいろいろと教えていただきたい気持ちでいっぱいである、平日だと4時以降にならないと出向いていられないのでどのような形で支援をお願いすればよいか教えていただきたい。
- 71 通常学級に在籍している特別支援の生徒の具体的な支援策をケース会議などを開いて検討する際、（専門家として）アドバイザーとして入ってもらえるシステムをつくってほしい。
- 72 中学校卒業後、地域の中でどのようなサービスを受けながら生活していけるのか。進路としてはどのような可能性があるのか。
- 73 特別支援学校に在籍しない軽度発達障害の生徒に対し週1回など継続的・直接的支援がほしい。
- 74 特別支援学校としての役割をもっと具体的に示してほしい。現段階ではまだ体制がととのっていないかもしれないが、障害児学級担任としてとこまで「特別支援学校」と関わりを持てるのかがわからない。名称が変更することも知らない教員も多い。